

第121回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年5月10日（火） 9：48～10：04	場所	議場
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、田嶋新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 ワクチン接種について 2 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・接種証明書のコンビニ交付について ・集団接種会場におけるワクチンの廃棄について ・緊急申し入れ（日本共産党小金井市議団） 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都における新型コロナウイルス感染症リバウンド警戒期間は5月22日まで延長となっている。減少が続いてきた感染者数も、連休明けからやや増加傾向となっており、予断を許さない状況である。小金井市においては、感染症対策と社会経済活動の両立を目指していく。 ・小金井市の感染者数は、累計で9,483名となっており、現在357名の方が療養中である。最近の傾向としては若年層の感染が増加している。このような中で、小金井市としてはワクチン接種に全力で取り組んでいく。 ・ワクチン3回目接種率については、5月8日時点で対象者の約7割が3回目接種を終えている状況であり、東京都平均に比べ高い接種率となっている。20代が45%、30代が53%、全人口では約60%の方が3回目の接種を終えている。 ・5月8日をもって旧西友ビルの大規模接種会場での接種を終了し、今後は保健センターで継続して行っていく。ワクチン4回目接種は、3回目接種から5か月以上経過した60歳以上、基礎疾患ありの方を対象に準備を進めるが、引き続き、旧西友ビルの活用に向けた調整を進めたい。関係者の皆様に奮闘いただき、感謝申し上げたい。 ・大規模接種会場において課題が発生したが、原因究明を進め、再発防止策を徹底したうえで、引き続き、ワクチン接種に力を注いでいきたい。 ・市民生活や事業者への経済的な支援を含めた体制について、第2回定例会に補正予算を上程する予定である。新たな国の支援策も提示されてきているので、国や都の制度を積極的に活用しながら、市民生活や地域経済を支えていく取り組みを全力で展開していく。 				

1 ワクチン接種について

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・資料「接種証明書のコンビニ交付について」を基に説明。詳細がわかり次第、お示しする。
- ・5月8日をもって旧西友ビルの大規模接種会場での接種を終了し、今週末からは保健センターで継続してワクチン接種を進めていく。
- ・資料「集団接種会場におけるワクチンの廃棄について」を基に説明。5月4日、大規模接種会場において、ワクチンを保管しているDFのアダプターのプラグが外れており、電源が供給されていない状況であった。適正な保管温度を超えていたことから、12歳以上用ファイザー社製ワクチン768回分及び小児用ファイザー社製ワクチン4,400回分を医療用廃棄物として廃棄することとなった。廃棄することとなったワクチンは、その日使用する分ではなかったため、市民へは接種していない。5月中のワクチンは確保できており、都へ確認したところ、他自治体からの融通も可能とのことであり、市民への影響はない。再発防止策としては、会場への入退所時、毎回、電源・プラグの接続に異常がないか、職員が直接触れて点検を行うこととする。本件については、市議会議員への情報提供及びプレスリリースを行っている。
- ・4回目接種について、国から具体的な情報は示されていない。4月28日の説明会では、対象者は、3回目接種から5か月以上経過した60歳以上、基礎疾患ありの方とのことであった。医療関係者は対象となっていない。接種会場は保健センターで開始し、旧西友ビルの活用は最短で6月11日からとなる予定である。個別接種は、引き続き、市内の医療機関にご協力いただくが、6月8日からは参加医療機関を増やす方向で調整中である。

(市長)

- ・接種証明書のコンビニ交付については、希望制とのことであるが、小金井市としては、やるべきだと考える。検討及び調整をお願いする。

(福祉保健部長)

- ・ワクチンの廃棄について、外見ではプラグが外れていることがわからない状況であった。再発防止策としては、目視だけでなく、直接接続を確認することとする。

(市長)

- ・5月4日昼頃、新型コロナウイルス感染症対策担当課長から連絡があったため、緊急性があると判断し、現場へ急行した。現地では、小金井市医師会ワクチン担当理事と、現場確認や再発防止策の方向性について確認することができた。再発防止策としては、先ほど話のあった入退室時の確認だけでなく、ログの管理、防犯カメラ設置等の検討結果も、対策本部で報告してもらいたい。

(福祉保健部長)

- ・再発防止策の検討状況については、整理する。

(市長)

- ・ワクチンの廃棄に伴い、市民へ影響はあるか。

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・5月中のワクチンは確保できており、東京都へ確認したところ、他自治体からの融通も可能とのことであり、市民への影響はない。

(市長)

- ・他自治体から融通してもらうようであれば、相手方の首長に御礼申し上げなくてはならない事案であるため、状況がわかり次第、情報共有をお願いする。

2 各部連絡事項

(子ども家庭部長)

- ・国の原油価格高騰への対策に合わせて、低所得者の子育て世帯に対して子育て世帯生活支援特別給付金（児童1人あたり5万円）を実施すると国から通知がきている。対象者は、児童扶養手当受給者（ひとり親世帯）と令和4年度住民税非課税世帯の2つである。ひとり親世帯に対しては、できる限り6月末までの支給との通知であり、その他世帯については非課税通知が出ないと対応できないため、申請という対応になる。ひとり親世帯に対する事務費は第2回定例会即決でお願いしたい。

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・緊急申し入れ書の提出があったので、参考に配付する。

(以上)